

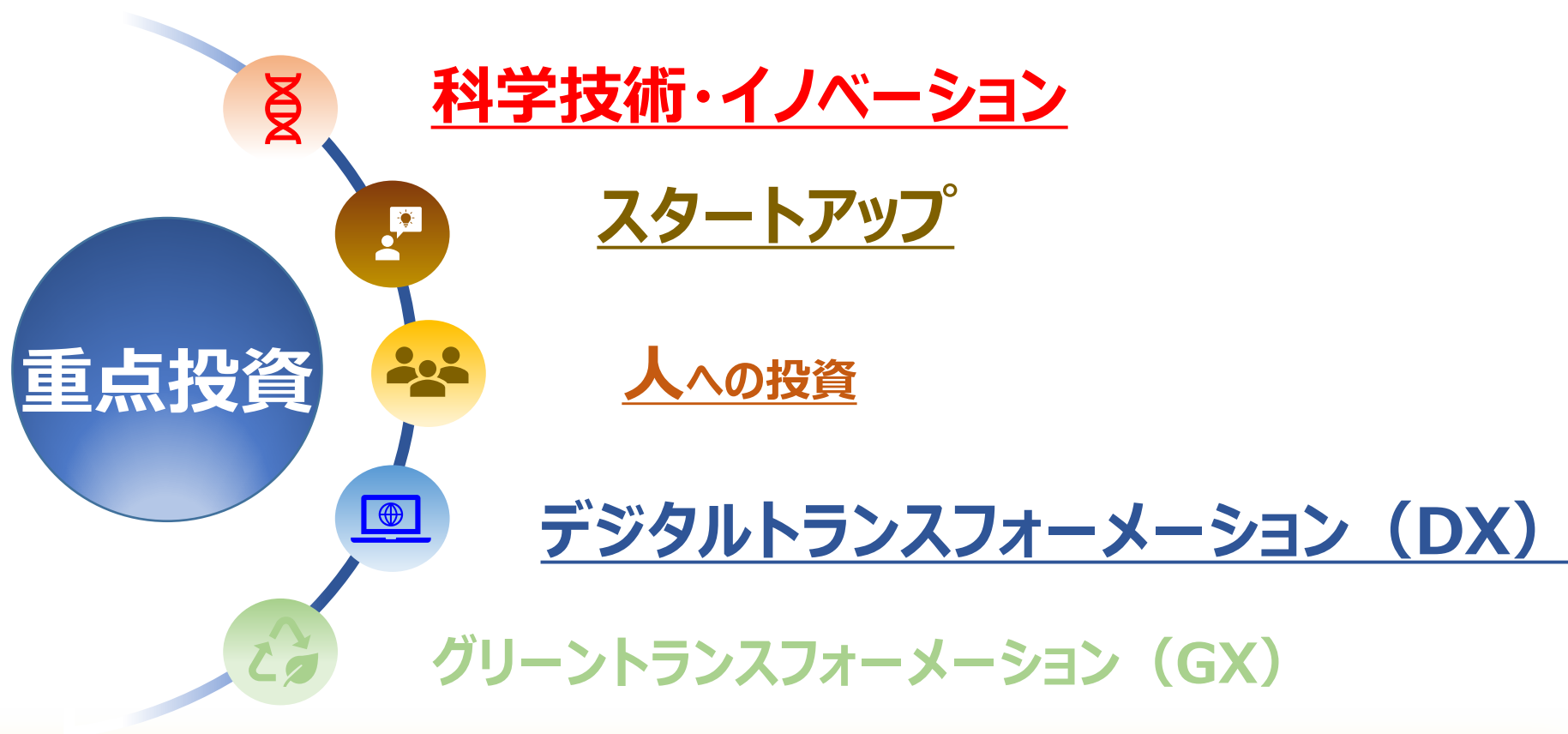
# 革新的イノベーションを世界に届ける 医薬品産業政策の実現に向けて

2022年6月7日  
日本製薬工業協会  
岡田 安史

**新薬創出により  
アンメットメディカルニーズを充足し  
健康寿命の延伸に貢献**

**製薬産業は日本の基幹産業として  
経済成長に貢献**

## 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 案

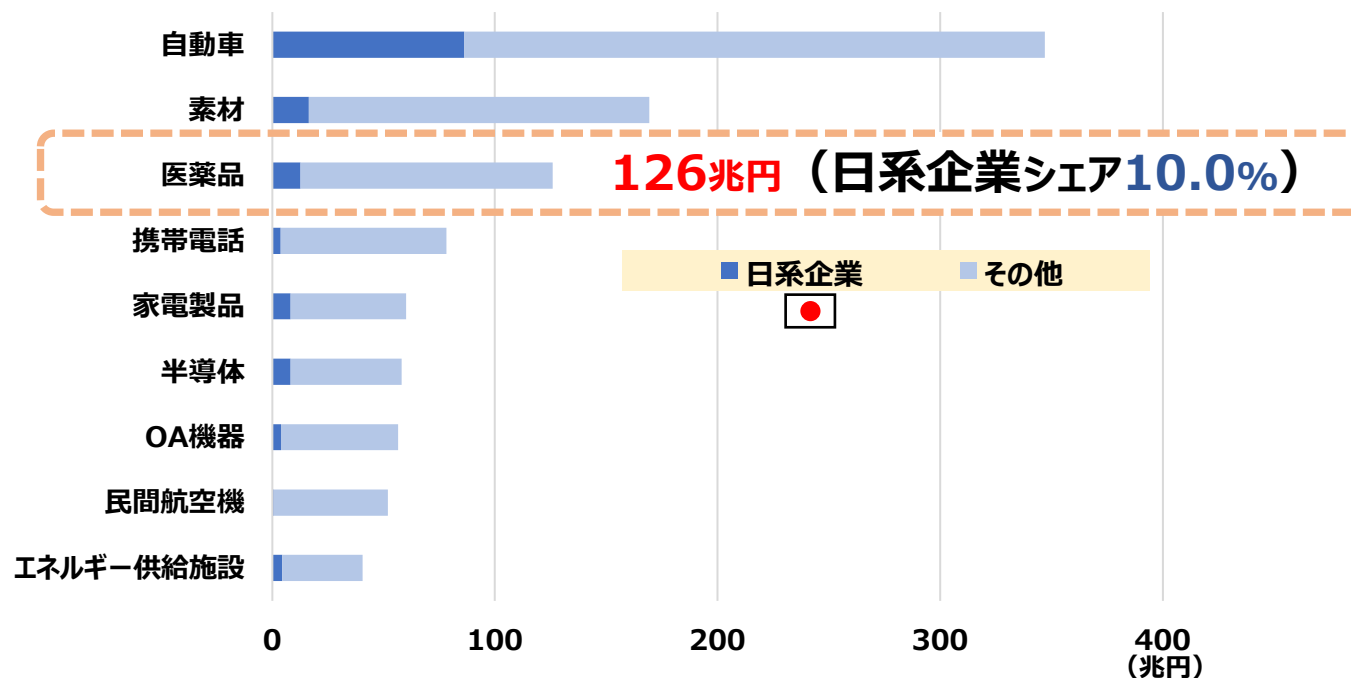


**世界的に医薬品市場が成長を続ける中、  
我が国においても、製薬を成長産業とすべく取組を進める**

# 医薬品の世界市場規模は大きい

- 医薬品の世界市場規模は126兆円 自動車、素材に次ぐ大きさ
- 日系企業のシェアは約10%にとどまっており 成長の余地が大きい

分野別市場規模 (2018年)

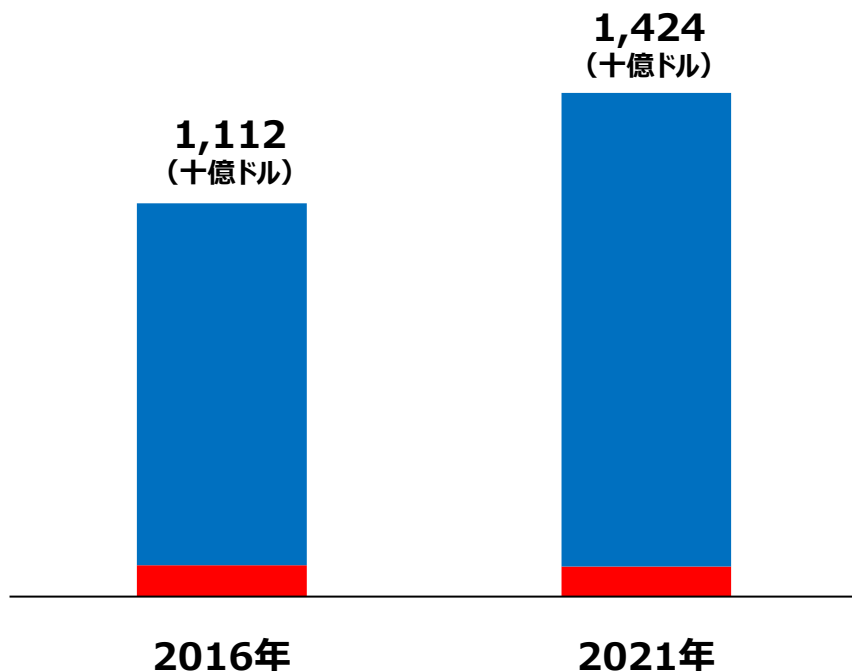


出典：新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)「2019年度 日系企業のITサービス、ソフトウェア及びモノの国際競争ポジションに関する情報収集」調査結果をもとに作成

今後も成長が予想される世界の医薬品市場にて  
さらに国際競争力を強化することで成長し、日本経済を牽引する

# しかし、縮小する日本の医薬品市場

## 直近5年の医薬品市場推移



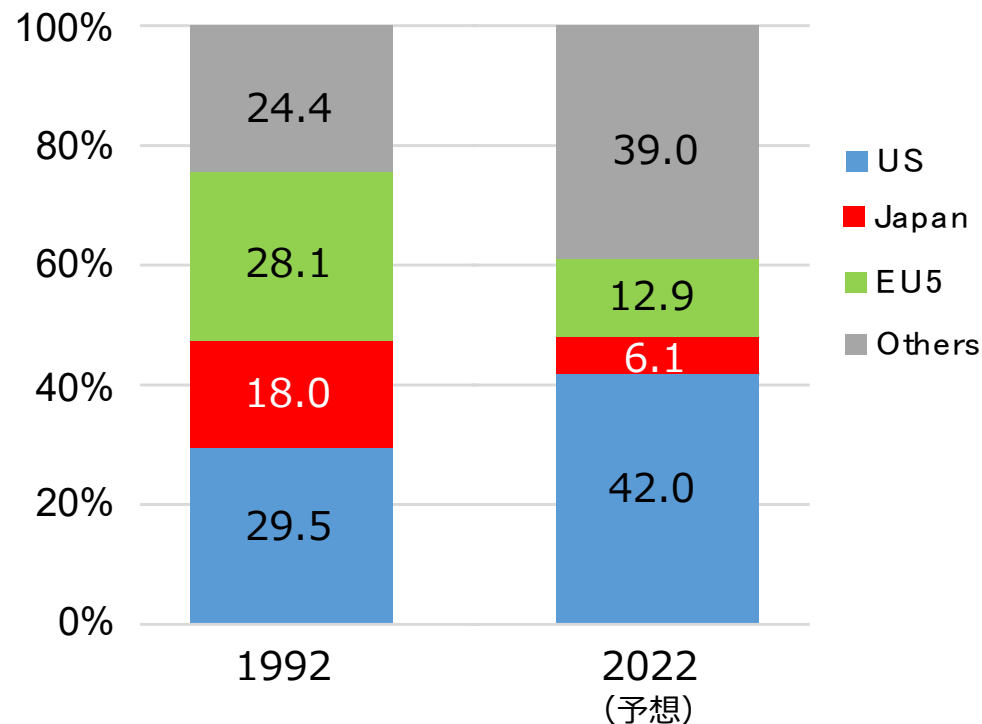
世界：約1.3倍に増加（年平均成長率：+5.1%）

日本：微減（年平均成長率：△0.5%）

出所：Copyright©2022 IQVIA. IQVIA Market Prognosis, Sep 2021; IQVIA Institute, Nov 2021

出典：IQVIA The Global Use of Medicines 2022; Outlook to 2026をもとに日本製薬工業協会にて作成（無断転載禁止）

## 世界の医薬品市場における地域別シェア



Note:

EU5 : Germany, France, England, Italy, Spain

Data for 2022 is adopted the median of the IQVIA report

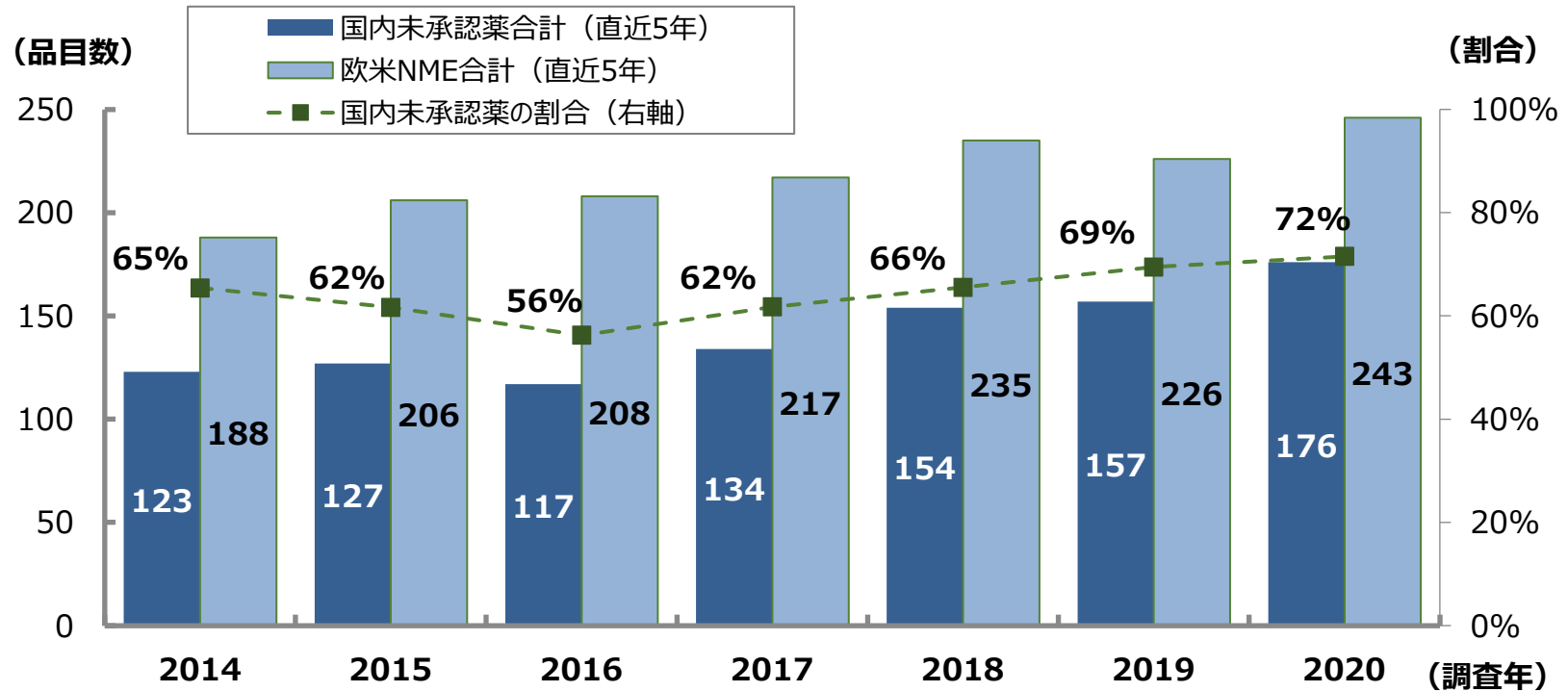
Data Source : Copyright © 2022 IQVIA.: IQVIA Market Prognosis, Oct 2017, IQVIA report 2018 and Beyond : Outlook and Turning Points. (Reprinted with permission).

Data Source: (1992) : Scrip "Yearbook" 1992, Glaxo Wellcome annual report

Graph and share % : In-house preparation and calculation based on IQVIA and JPMA data

# 成長する医薬品市場への転換が必要

# 国内未承認薬数は増加傾向にあり ドラッグラグの再燃が懸念される



	2016年	2020年
国内未承認薬合計	117品目	176品目
国内未承認薬の割合	56%	72%

→

注1：各年の品目数は調査時点における直近5年の国内未承認薬数

注2：国内未承認薬の割合 = 国内未承認薬合計（直近5年）／欧米NME合計（直近5年）

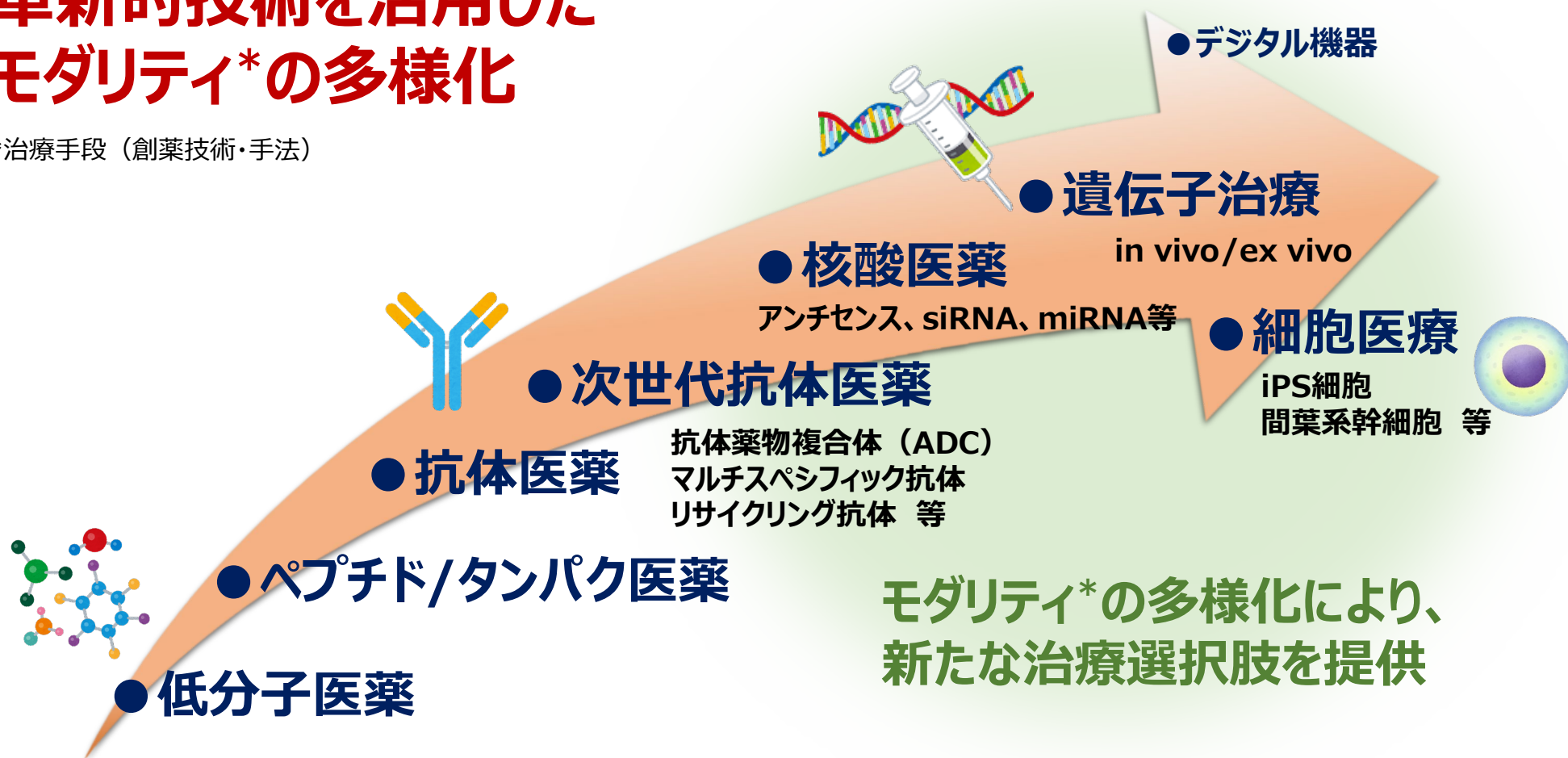
出所：PMDA, FDA, EMAの各公開情報をもとに医薬産業政策研究所にて作成

出典：医薬産業政策研究所「ドラッグ・ラグ：国内未承認薬の状況とその特徴」政策研ニュース No.63（2021年07月）

# 創薬技術の進歩と実用化の進展

## 革新的技術を活用した モダリティ\*の多様化

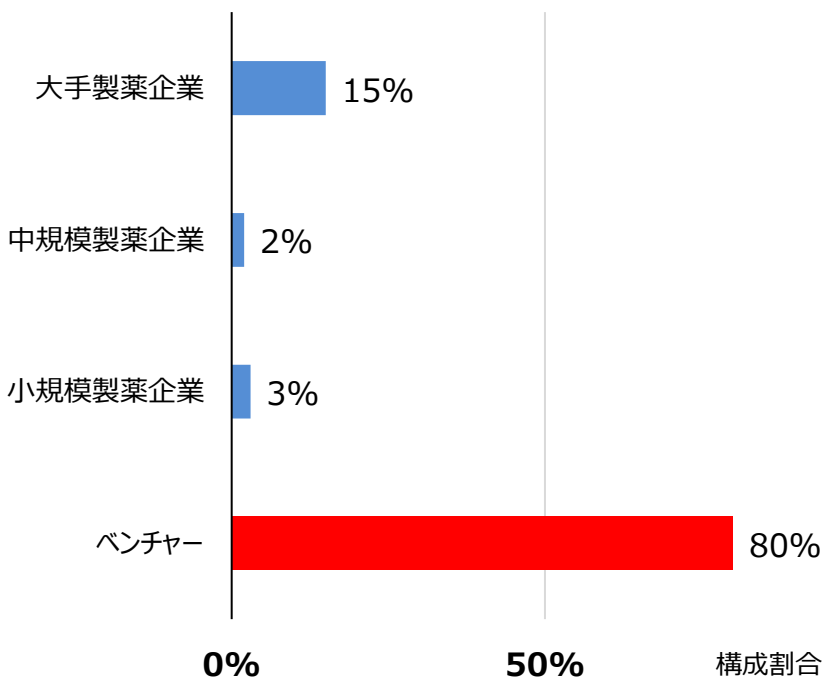
\*治療手段（創薬技術・手法）



アカデミアやベンチャー発のシーズが重要な時代に

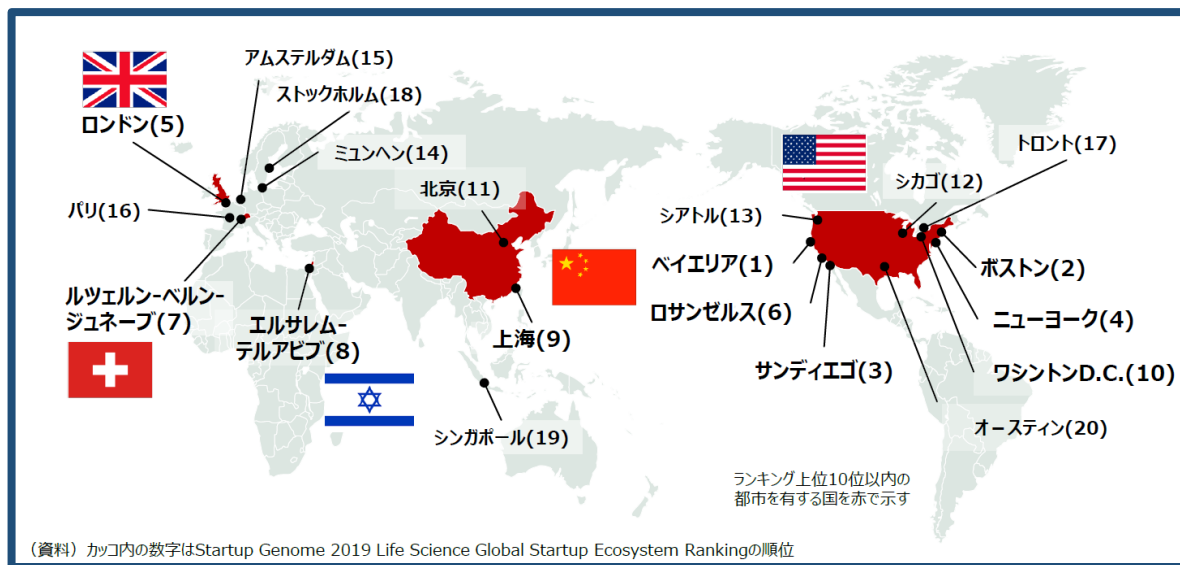
# 産業構造の変革とバイオクラスター形成

## 世界の医薬品創薬開発品目数シェア (企業規模別)



(注) 大手製薬企業：売上高100億ドル以上の25社、中規模製薬企業：売上高50～100億ドルの9社、小規模製薬企業：売上高5～50億ドルの74社、ベンチャー：売上高5億ドル未満の3,212社  
(出所) IQVIA社資料を基に作成。

## 世界の主要なバイオクラスター (ライフサイエンス分野のスタートアップ・エコシステムの都市ランキング)



出典：経済産業省 第10回 産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会 資料4

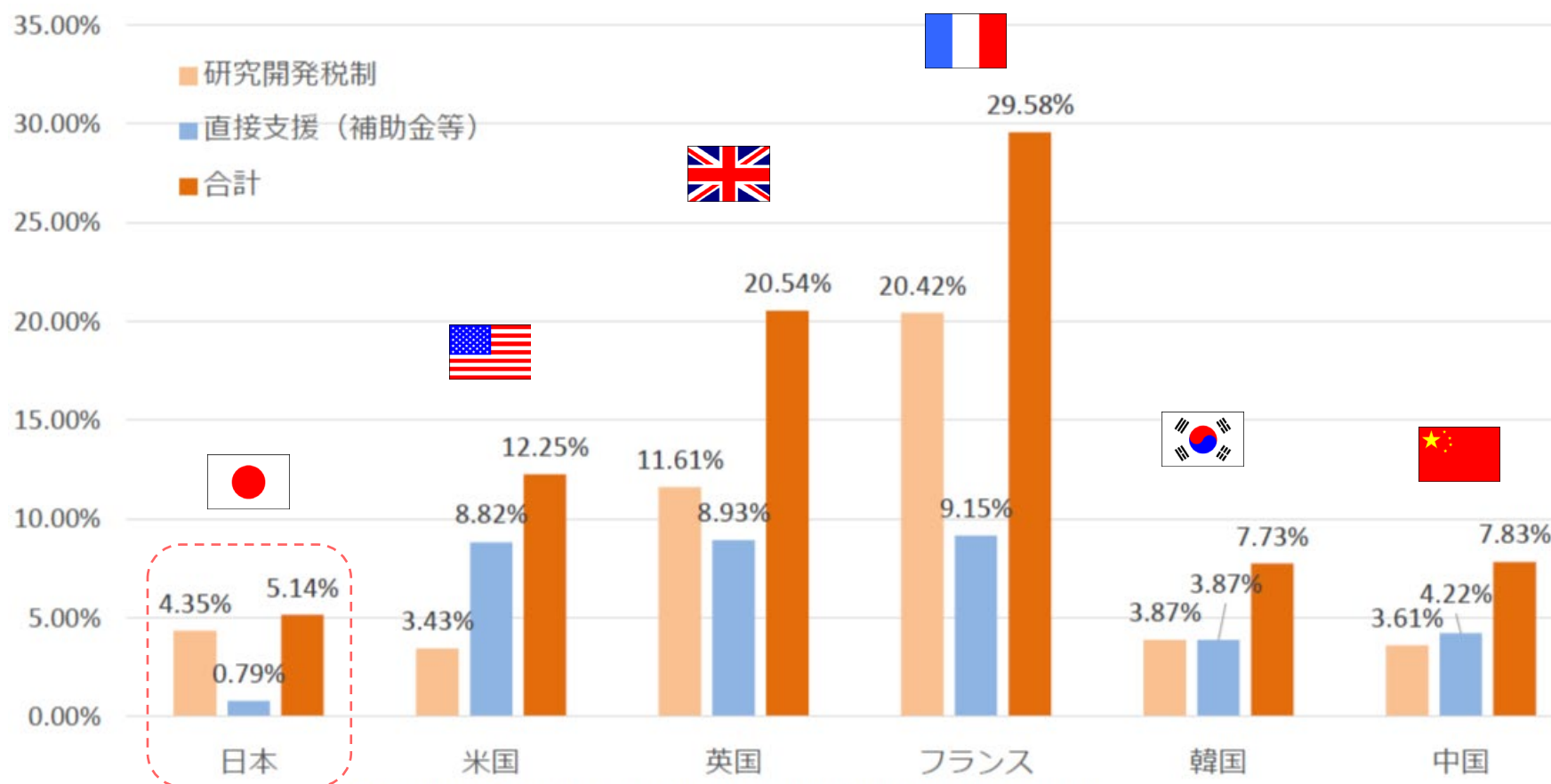
- **米中欧の都市が上位10位の多く占める**
- エルサレム、ストックホルム、シンガポールなどが上位20位にライクインするなかで、**日本の都市はランキング外**

ベンチャーが創薬開発品目数の80%を占めており、世界的にベンチャーが創薬開発の担い手である一方、日本には国際競争力のあるバイオクラスターが不在



# 世界最先端の科学技術立国であるために さらなる官民協力が不可欠

## 民間研究開発投資に対する政府支援の対民間研究開発投資率 (2017)



(注) 研究開発税制がある主要国を抽出。地方政府の支援は含まない。  
(出典) OECD Main Science and Technology Indicators より作成

# 国家戦略としての医薬品産業政策

他の先進国に比肩する成長市場の実現  
安全保障の観点も含めたリスクの高い研究開発への投資強化

世界で戦える医薬品産業の育成

# Appendix

## 創薬力強化の鍵となる デジタルトランスフォーメーションの推進

### ➤ 健康医療情報の利活用環境整備

- 電子カルテ情報の標準化、医療機関間での健康医療データ連結の推進
- 次世代医療基盤法の改正等（研究開発に適した加工基準への変更、継続的なデータ提供やデータの信頼性確認の実現等）

### ➤ 全ゲノム解析等実行計画の着実な推進

- 基金の創設による複数年に渡る安定的な予算確保 等